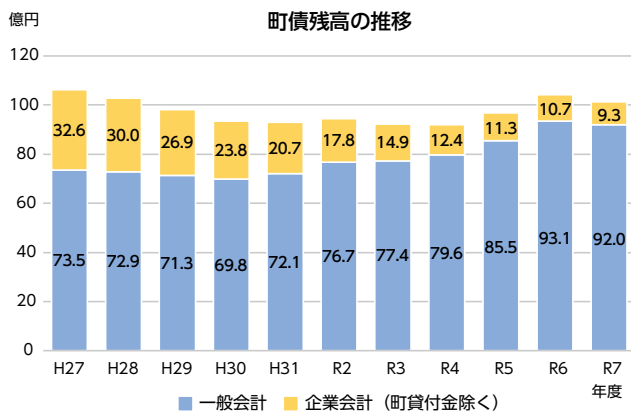


町の借入金



町民1人あたりの借入残高

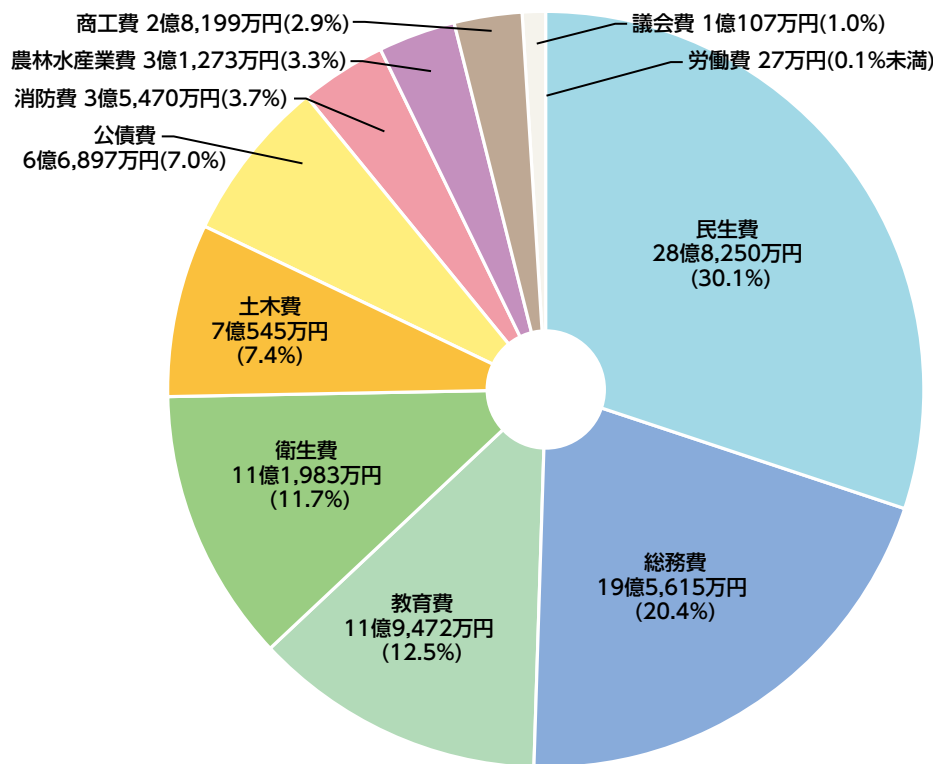
一般会計の町債残高	92億 323万円	1人あたり 638,530円 (前年度4,666円減)
公営企業の町債残高	9億2,513万円	
計	101億2,836万円	

※令和8年4月1日現在の現住人口 15,862人

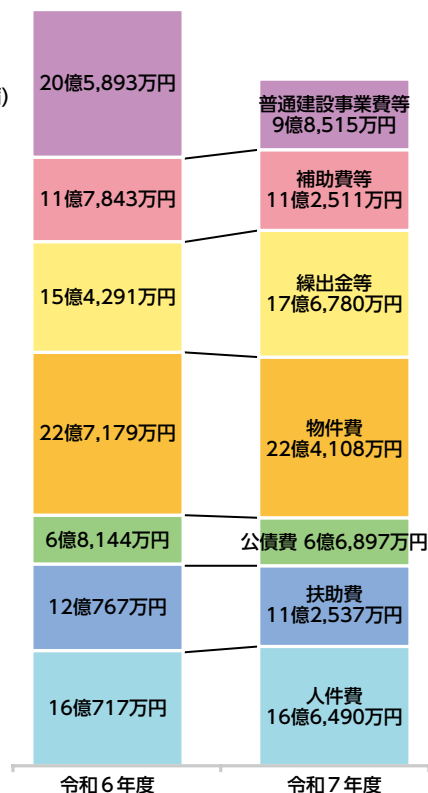
借入残高の内訳

土木関係	24億2,461万円	衛生関係	4,398万円
農林水産業関係	1億5,593万円	総務関係	17億8,408万円
教育関係	13億5,686万円	災害復旧関係	1億6,170万円
公営住宅関係	2億1,966万円	その他	11億6,852万円
厚生福祉関係	12億5,037万円	水道事業	161万円
消防関係	6億3,752万円	下水道事業	9億2,352万円

歳出(目的別)の内訳



歳出(性質別)の推移



歳出の特徴

目的別

民生費では、岩江こども園整備事業の終了等により、前年と比べ4億622万円減額の28億8,250万円となりました。総務費では、アウトドア・アクティビティ拠点施設整備事業の終了等により、前年と比べ3億7,393万円減額の19億5,615万円となりました。

性質別

普通建設事業費では、アウトドア・アクティビティ拠点施設整備事業や岩江こども園整備事業の終了等により、前年と比べ10億7,378万円減額の9億8,515万円となりました。繰出金等では、財政調整基金積立金3億300万円等により、前年と比べ2億2,489万円増額の17億6,780万円となりました。

健全化判断比率等の公表

地方公共団体の財政の健全性を判断するための指標があります。

指標	数値	解説
①実質赤字比率	赤字ではありません	市町村の一般会計等の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すものです。
②連結実質赤字比率	赤字ではありません	全ての会計の赤字・黒字を合算し、市町村全体としての赤字の程度を示す指標です。
③実質公債費比率(3か年平均)	7.3% (前年度0.5%減)	市町村の借入金の返済分等の大きさを指標化し、財政負担を見るための比率です。
④将来負担比率	52.4% (前年度3.1%減)	市町村の借入金や将来支払いが見込まれる負債分を指標化し、将来の負担を示すものです。
⑤資金不足比率	資金不足はありません	公営企業の事業規模に対する資金の不足額の比率を示し、経営状況を把握するものです。(水道・下水道事業等、病院事業、宅地造成事業)

主な町税などの徴収率

区分		収入済額	収入未済額	徴収率	前年比
個人 町民税	現年度分	6億8,537 万円	255 万円	99.61 %	▲0.04 %
	滞納繰越分	142 万円	666 万円	16.77 %	2.15 %
固定 資産税	現年度分	9億 672 万円	163 万円	99.73 %	▲0.08 %
	滞納繰越分	87 万円	226 万円	23.14 %	▲2.80 %
国民健康 保険税	現年度分	2億6,982 万円	540 万円	97.95 %	▲0.19 %
	滞納繰越分	461 万円	1,215 万円	26.41 %	4.12 %
町営住宅 使用料	現年度分	5,593 万円	85 万円	98.50 %	▲0.22 %
	滞納繰越分	37 万円	65 万円	36.33 %	▲27.64 %